

現場主義 Ver4.9

ハンディターミナル



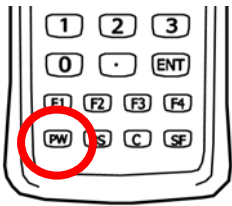
操作マニュアル

BHT-300 series

株式会社 松山電子計算センター

メインメニュー ・ 基本操作

1) 電源を入れる



キーボード左下にある **(PW)** を押すと電源が入ります。

- ※ うまく起動しない場合は少し長押し（1秒程度）してください。
- ※ 長期間使用していない場合は充電が必要な場合があります。

2) メインメニュー

```
/ 現場主義v4.9 /  
1:仕入 2:移動  
3:売上 4:発注  
ENT:次へ >_
```

```
/ 現場主義v4.9 /  
5:棚卸 6:値札  
8:通信 9:電源OFF  
ENT:戻る >_
```

電源を入れるとメインメニューが表示されます。

実行したい処理の番号キーを押してから、

(ENT) キーを押してください。

- | | |
|---------|------------------------|
| 1:仕入 | 仕入処理を行います。 |
| 2:移動 | 移動処理を行います。 |
| 3:売上 | 売上処理を行います。 |
| 4:発注 | 発注処理を行います。 |
| 5:棚卸 | 棚卸処理を行います。 |
| 6:値札 | 値札発行要求処理を行います。 |
| 8:通信 | 現場主義(パソコン)との通信処理を行います。 |
| 9:電源OFF | 電源を切ります。 |

3) 基本操作

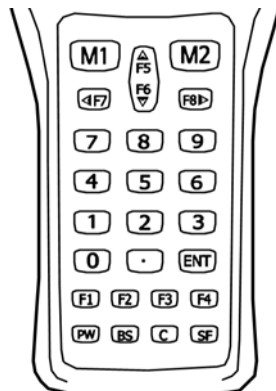
現場主義で主に使用するボタンは、次の通りです。

(A/F5) 前の項目に戻る

(BS) 1文字削除

(C) 項目クリア

(F1) メニューに戻る



(ENT) 確定・次の項目に進む

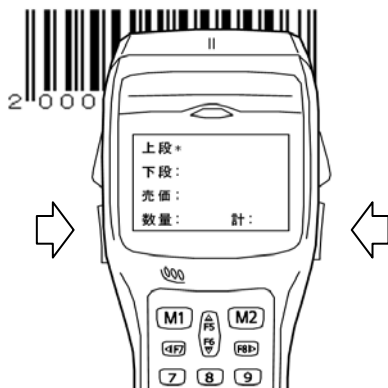
(0) 数値を入力（数値キー）

~

(9)


(F2) 前のページに戻る


4) バーコードスキャン



バーコード読取りが可能な項目でハンディ本体側面にあるトリガボタンを押すと、バーコードを読み取ることができます。

※ うまく読み取れないときは、バーコードから10cm~20cmほどの位置からスキャンしてください。

次ページからの業務説明において、 マークのある項目では、商品や値札に表示されているバーコード（JAN / EAN / UPC）をスキャンすることができます。

また、 マークのある項目では、あらかじめCODABAR (NW-7)のバーコードを作成しておくことで、キー入力の手間を省くことができます。（店舗コード、担当者コード、伝票番号）

マーク	使用箇所	読み取ることができるバーコード
 JAN	上段、下段、 顧客CD	 JANコード / EAN / UPC (13桁/8桁)
 NW7	店舗、担当、 伝票、仕入先	 CODABAR (NW-7)

※ CODE39、ITFのバーコードには対応していません。

5) 現場主義への転送

ハンディターミナルで商品をスキャンした後は、スキャンデータを現場主義（パソコン）に転送する必要があります。

→ 7. 通信

6) 電源を切る

業務が終了したら、ハンディターミナルの電源を切ります。

メインメニューで「9：電源OFF」を選択するか、電源ボタン **(PW)** を押して電源を切ります。

※ 処理の途中で電源ボタン **(PW)** を押して終了した場合は、

再度電源ボタンを押して起動した際に、続きから処理を行うことができます。

1. 仕 入

メーカー（仕入先）から届いた商品をスキャンして、仕入処理を行います。

（※ 自社物流センターや他店舗から到着した商品については 2.移動 メニューを使用してください。）

= 仕入 処理 =
1:登録 2:削除
9:終了
>_

- 1 : 登 録 仕入商品のスキャンを行います。
- 2 : 削 除 仕入登録データの削除を行います。
- 9 : 終 了 メインメニューに戻ります。

実行したい処理の番号キーを押してから、ENTキーを押します。

⇒ 仕入商品の入力を行うには **1** を押して、 **ENT** を押します。

1-1) 登 録

区分:21 担当:000001
店舗:0001
伝票:01500001
日付:20090401

区 分 : 仕入の区分を入力します。

21:仕入 22:仕入返品
23:仕入取消 24:仕入返品取消

21:仕入 商品を仕入れる際に使用します。
22:仕入返品 商品の破損などで仕入先に返品する際に使用します。
23:仕入取消 21:仕入で入力した内容を取消す際に使用します。
24:仕入返品取消 22:仕入返品で入力した内容を取消す際に使用します。



担 当 : 担当者(販売員)CDを入力します。

仕入を行う担当者のコードを入力してください。



店 舗 : 店舗CDを入力します。

仕入を行う店舗(物流拠点)のコードを入力してください。



伝 票 : 仕入伝票の番号を入力します。

[仕入区分:21,23] の場合は必須入力です。

[仕入区分:22,24] の場合は未入力可能です。

日 付 : 仕入日付を入力します。

仕入を行う日付を入力してください。

初期値としてシステム日付が自動的に入力されています。

発注:00010001
上段:20000000000008
数量:20
計:120



発 注 : 発注伝票の番号を入力します。

自動的にカーソルは止まりません、入力する場合は

上段から **FS** でカーソルを移してください。



上 段 : 商品のJANコードをスキャンします。

トリガキーを押してバーコードをスキャンします。

※ スキャンできないときは Q&A(P.21) をご覧ください。

数量 : 仕入を行う商品の数量を入力します。

計 : 同じ仕入伝票番号の合計数量が表示されます。

最後まで入力すると 確認*_ が表示され、(ENT) を押すと登録されます。

→ 登録せず戻る場合は (F5) か (F1) (仕入メニューに戻る) を押してください。

→ 登録件数が3000件を超えると'メモリ容量がいっぱいです'と表示されます。データ送信を行ってください。

1-2) 削除

= 仕入処理 =
削除を行います
開始しますか?
確認*_

仕入登録されたデータをすべて削除します。

(ENT) を押すと削除が実行されます。

(F1) を押すと削除をキャンセルし、仕入メニューに戻ります。

※ 一度削除されたデータを戻すことはできませんのでご注意ください。

※ 特定の商品のデータのみを削除したい場合は下記をご覧ください。

< このようなときには >

Q 仕入商品を間違えて登録してしまったので、該当商品の仕入データのみを削除したい。

→ 仕入区分「23:仕入取消」で取り消したい商品を同じ数量で登録します。

Q 数量を間違えて登録してしまったので、訂正を行いたい。

→ 差分の数量を追加登録します。

例1: 数量5と登録したが、数量3に変更したい。

→ 仕入区分「23:仕入取消」で同一商品を数量2で登録します。

例2: 数量2と登録したが、数量6に変更したい。

→ 仕入区分「21:仕入」で同一商品を数量4で登録します。

※ **登録内容の修正や削除は、ハンディターミナルからパソコンに転送後、現場主義の「仕入伝票I/Tリ-(仕入検品入力)」画面からも行うことができます。**

2. 移 動

物流センターや他店舗から到着した商品の入荷処理、および出荷処理を行います。

= 移動 処理 =
1:登録 2:削除
9:終了
>_

- | | | |
|-----|-----|------------------|
| 1 : | 登 録 | 移動商品のスキャンを行います。 |
| 2 : | 削 除 | 移動登録データの削除を行います。 |
| 9 : | 終 了 | メインメニューに戻ります。 |

実行したい処理の番号キーを押してから、ENTキーを押します。

⇒ 移動商品の入力を行うには **1** を押して、 **ENT** を押します。

2-1) 登 録

区分:41 担当:000001
店舗:0001->0002
NO:02500001
日付:20090401

区 分 : 移動の区分を入力します。

41:出荷 **42:入荷**
43:出荷訂正 **44:入荷訂正**

41:出荷 商品を出荷する際に使用します。
42:入荷 商品を入荷する際に使用します。
43:出荷訂正 41:出荷で入力した内容を訂正する際に使用します。
44:入荷訂正 42:入荷で入力した内容を訂正する際に使用します。



担 当 : 担当者(販売員)CDを入力します。

移動処理を行う担当者コードを入力してください。



店舗(左) : 商品を出荷する店舗のコードを入力します。

(振出店)

[41:出荷] 処理の場合は自店舗のコードを入力します。

[42:入荷] 処理の場合は出荷元のコードを入力します。



店舗(右) : 商品を入荷する店舗のコードを入力します。

(受入店)

[41:出荷] 処理の場合は出荷先のコードを入力します。

[42:入荷] 処理の場合は自店舗のコードを入力します。

※ 設定2 取込入力 = 1:ON の場合は相手先の店舗のみの入力になります。



N O : 移動伝票番号を入力します。

[41:出荷] 処理の場合は未入力(0)、

[42:入荷] 処理の場合は出荷伝票の番号を入力します。

日 付 : 移動日付を入力します。

移動を行う日付を入力してください。

初期値としてシステム日付が自動的に入力されます。



上 段 : 商品のJANコードをスキャンします。

※ スキャンできないときは Q&A(P.21) をご覧ください。

上段:20000000000008
下段:2300012598006
売価:1259800
数量:10 計:60



下段 : 商品の下段JANコードをスキャンします。

下段バーコードをスキャンする必要がある場合のみ
入力してください。

※ 設定2 下段CD & 売価表示 ON の場合のみ表示されます。

売 価 : 商品の売価を入力します。

※ 設定2 下段CD & 売価表示 ON の場合のみ表示されます。

数 量 : 移動する数量を入力します。

計 : 同じ移動伝票番号の合計数量が表示されます。

最後まで入力すると 確認*_ が表示され、**(ENT)** を押すと登録されます。

→ 登録せず戻る場合は **(A)** か **(F1)** (移動メニューに戻る) を押してください。

→ 登録件数が3000件を超えると'メモリ容量がいっぱいです'と表示されます。データ送信を行ってください。

2-2) 削 除

= 移動 処理 = 削除を行います 開始しますか? 確認*_

移動登録されたデータをすべて削除します。

(ENT) を押すと削除が実行されます。

(F1) を押すと削除をキャンセルし、移動メニューに戻ります。

※ 一度削除されたデータを戻すことはできませんのでご注意ください。

※ 特定の商品のみ削除したい場合は、区分 43:出荷訂正、44:入荷訂正
による登録を行います。

< このようなときには >

Q 間違えた商品・数量で登録してしまったので、該当商品のデータのみを変更・削除したい。

→ 仕入での同様例と同じように、訂正区分を使用しての追加登録を行います。

例1: 出荷の数量5で登録したが、数量3に訂正したい。

→ 移動区分「43:出荷訂正」で同一商品を数量2で登録します。

※ **登録内容の修正や削除は、ハンディターミナルからパソコンに転送後、
現場主義の「移動伝票入力(移動出荷/入荷入力)」画面からも行うことができます。**

3. 売 上

ハンディターミナルを利用して商品の売上処理を行います。

= 売上 処理 =	
1:登録	2:削除
3:合計	9:終了
>_	

- | | | |
|-----|-----|-------------------|
| 1 : | 登 録 | 売上商品のスキャンを行います。 |
| 2 : | 削 除 | 売上登録データの削除を行います。 |
| 3 : | 合 計 | 売上データの合計金額を表示します。 |
| 9 : | 終 了 | メインメニューに戻ります。 |

実行したい処理の番号キーを押してから、ENTキーを押します。

⇒ 売上商品の入力を行うには **1** を押して、**ENT** を押します。

3-1) 登 録

区分:11
店舗:0001
日付:20090401

区 分 : 売上区分を入力します。

11:売上	12:売上返品
13:売上取消	14:売上返品取消

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| 11:売上 | 商品の売上げ時に使用します。 |
| 12:売上返品 | お客様より商品の返品があった際に使用します。 |
| 13:売上取消 | 11:売上で入力した内容を取消する際に使用します。 |
| 14:売上返品取消 | 12:売上返品で入力した内容を取消する際に使用します。 |



店 舗 : 商品売上店舗のコードを入力します。

日 付 : 売上日付を入力します。

初期値としてシステム日付が自動的に入力されています。

<ここから1取引ごとの入力>

PS種別:1 担当:000001
値引率:050%
売単価:0
顧客CD:0000091100001

PS種別 : プロパー/セールの種類別CDを入力します。

1:プロパー	通常価格での販売
2:セール	セール価格での販売



担 当 : 担当者(販売員)CDを入力します。

売上処理を行う担当者コードを入力してください。


値引率 : 値引率を入力します。

売単価 : 売上単価を入力します。

※ 値引率と売単価は必要な場合のみ入力してください。

値引率・売単価の項目を設定すると、次ページのスキャン商品すべてに自動的に適用されます。

単品ごとの価格入力の際は、この項目はスキップします。

 **顧客CD** : 顧客CDを入力します。

設定2 顧客入力 = 1:ON の場合のみ入力が可能です。
未入力 (0入力) も可能です。


<ここから1商品ごとの入力>

上段:2000000000008
下段:2300000196009
売価:9800 数:10
金額:98000 (250)

 **上段** : 商品のJANコードをスキャンします。

キーボードからの手入力も可能です。

※ スキャンできないときは Q&A(P.21) をご覧ください。

 **下段** : 商品の下段JANコードをスキャンします。

下段バーコードをスキャンする必要がある場合のみ
入力してください。

※ スキャン不要の場合は自動的にスキップされます。

売価 : 売上単価を入力します。

下段バーコードが入力されている場合、6桁目から12桁
目の7桁の値が自動的に入力されます。

→ 前画面で値引率が入力されている場合は、その値
に値引率を計算したものが表示されます。

→ 前画面で売単価が入力されている場合は、その値
が優先的に表示されます。

数量 : 売上数量を入力します。

金額 : 売上金額を入力します。

自動的に売価×数量が表示されます。

※ 金額を0にすることはできません。

計 : 同じ日の合計売上数量が表示されます。

最後まで入力すると 確認*_ が表示され、**(ENT)** を押すと登録されます。

→ 登録せず戻る場合は **(F5)** か **(F1)** (売上メニューに戻る)を押してください。

→ 登録件数が3000件を超えると'メモリ容量がいっぱいです'と表示されます。データ送信を行ってください。

3-2) 削除

= 売上処理 =
削除を行います
開始しますか？
確認*_

売上登録されたデータをすべて削除します。

- Ⓔ を押すと削除が実行されます。
- Ⓕ を押すと削除をキャンセルし、売上メニューに戻ります。

- ※ 一度削除されたデータを戻すことはできませんのでご注意ください。
- ※ 特定の商品のみ削除したい場合は、13：売上取消、14：売上返品取消による登録を行います。

3-3) 合計

	点数	金額
売上	0100	00350000
返品	0005	00010000
合計	+0095	+00340000

ハンディに登録されている売上データの合計が表示されます。

売上： 区分 11:売上 (+) 13:売上取消 (-)
で登録されたデータの合計

返品： 区分 12:売上返品 (+) 14:売上返品取消 (-)
で登録されたデータの合計

< このようなときには >

Q 売上商品を間違えて登録してしまったので、該当商品の売上データのみを削除したい。

→ 売上区分「13：売上取消」で取り消したい商品を同じ数量で登録します。

Q 売上商品の数量を間違えて登録してしまったので、訂正を行いたい。

→ 差分の数量を追加登録します。

例1：数量5と登録したが、数量3に変更したい。

→ 売上区分「13：売上取消」で同一商品を数量2で登録します。

例2：数量2と登録したが、数量6に変更したい。

→ 売上区分「11：売上」で同一商品を数量4で登録します。

- ※ 登録内容の修正や削除は、ハンディターミナルからパソコンに転送後、現場主義の「売上傳票I/Tリ-(売上傳票入力)」画面からも行うことができます。

4. 発 注

在庫が少なくなった商品の補充発注を行います。

= 発注 処理 =
1:登録 2:削除
9:終了
>_

- 1 : 登 録 発注商品のスキャンを行います。
2 : 削 除 発注登録データの削除を行います。
9 : 終 了 メインメニューに戻ります。

実行したい処理の番号キーを押してから、ENTキーを押します。

⇒ 発注商品の入力を行うには (1) を押して、 (ENT) を押します。


4-1) 登 録

区分:01 店舗:0001
日付:20090401
納期:20090420
担当:000001

区 分 : 登録の区分を入力します。


O1:登録 O2:取消

O1:登録 発注の登録を行う際に使用します。
O2:取消 O1:登録で入力した内容を修正・取消する際に使用します。


 店 舗 : 発注を行う店舗のコードを入力します。

日 付 : 発注を行う日付を入力します。

納 期 : 指定納期の日付を入力します。

 担 当 : 発注を行う担当者のコードを入力します。

仕入先:0001001
上段:2000000000008
数量:30
計:60

 仕入先 : 仕入先CDを入力します。

※ スキャン不要の設定の場合は表示されません。

設定1 メーカー明細 = 1:仕入先 の場合のみ入力可能です。

 上 段 : 商品のJANコードをスキャンします。

キーボードからの手入力も可能です。

※ スキャンできないときは Q&A(P.21) をご覧ください。

数 量 : 発注する数量を入力します。

計 : 同じ日の合計発注数量が表示されます。

最後まで入力すると 確認*_ が表示され、**(ENT)** を押すと登録されます。

→ 登録せず戻の場合は **(F5)** か **(F1)** (発注メニューに戻る)を押してください。

→ 登録件数が3000件を超えると'メモリ容量がいっぱいです'と表示されます。データ送信を行ってください。

4-2) 削除

= 発注 処理 =
削除を行います
開始しますか?
確認*_

発注登録されたデータをすべて削除します。

(ENT) を押すと削除が実行されます。

(F1) を押すと削除をキャンセルし、発注メニューに戻ります。

※ 一度削除されたデータに戻すことはできませんのでご注意ください。

※ 特定の商品のデータのみを削除したい場合は下記をご覧ください。

< このようなときには >

Q 発注商品を間違えて登録してしまったので、該当商品の発注データのみを削除したい。

→ 区分「O2：取消」で取り消したい商品を同じ数量で登録します。

Q 発注商品の数量を間違えて登録してしまったので、訂正を行いたい。

→ 差分の数量を追加登録します。

例1：数量5と登録したが、数量3に変更したい。

→ 区分「O2：取消」で同一商品を数量2で登録します。

例2：数量2と登録したが、数量6に変更したい。

→ 区分「O1：登録」で同一商品を数量4で登録します。

※ **登録内容の修正や削除は、ハンディターミナルからパソコンに転送後、現場主義の「発注伝票ITリ-(補充発注入力)」画面からも行うことができます。**

5. 棚 卸

棚卸を行い実際の商品在庫数を確認するために、在庫商品のスキャンを行います。

= 棚卸 処理 =
1:登録 2:削除
9:終了
>_

- 1 : 登 録 棚卸商品のスキャンを行います。
2 : 削 除 棚卸登録データの削除を行います。
9 : 終 了 メインメニューに戻ります。

実行したい処理の番号キーを押してから、ENTキーを押します。

⇒ 棚卸商品の入力を行うには **1** を押して、**ENT** を押します。

5-1) 登 録

区分:51
店舗:0001
棚番:0001
計:1200

区 分 : 棚卸区分を入力します。

51:通常 **52:取消**

51:通常 在庫商品の登録を行う際に使用します。
52:取消 51:通常で入力した内容を修正・取消する際に使用します。



店 舗 : 棚卸を実施する店舗のコードを入力します。

棚 番 : 棚番を入力します。

< 棚番とは >

棚卸の際に、棚卸の効率化およびミスを防ぐために
任意の商品単位ごとにスキャンをしていくための番号です。
※ 棚番運用をしない場合は'0001'と入力してください。

上段:20000000000008
下段:2300012598006
売価:1259800
数量:10 計:1200



上 段 : 商品のJANコードをスキャンします。

キーボードからの手入力も可能です。

※ スキャンできないときは Q&A(P.21) をご覧ください。



下 段 : 商品の下段JANコードをスキャンします。

下段バーコードをスキャンする必要がある場合のみ
入力してください。

※ 設定2 下段CD & 売価表示 ON の場合のみ表示されます。

売 価 : 商品の売価を入力します。

※ 設定2 下段CD & 売価表示 ON の場合のみ表示されます。

数 量 : 在庫商品の数量を入力します。

計 : スキャンした商品の合計数量が表示されます。

最後まで入力すると 確認*_ が表示され、(ENT) を押すと登録されます。

→ 登録せず戻る場合は (F5) か (F1) (棚卸メニューに戻る) を押してください。

→ 登録件数が3000件を超えると'メモリ容量がいっぱいです'と表示されます。データ送信を行ってください。

5-2) 削除

= 棚卸 処理 =

棚番 : 0001

>*

棚番を指定して、該当の棚卸登録データを削除することができます。

(ENT) を押すと削除が実行されます。

(F1) を押すと削除をキャンセルし、棚卸メニューに戻ります。

※ 棚番未入力(0)で削除することはできません。

※ 一度削除されたデータを戻すことはできませんのでご注意ください。

※ 特定の商品のデータのみを削除したい場合は下記をご覧ください。

< このようなときには >

Q 棚卸商品を間違えて登録してしまったので、該当商品の棚卸データのみを削除したい。

→ 区分「52:取消」で取り消したい商品を同じ数量で登録します。

Q 棚卸商品の数量を間違えて登録してしまったので、訂正を行いたい。

→ 差分の数量を追加登録します。

例1: 数量5と登録したが、数量3に変更したい。

→ 区分「52:取消」で同一商品を数量2で登録します。

例2: 数量2と登録したが、数量6に変更したい。

→ 区分「51:通常」で同一商品を数量4で登録します。

※ **登録内容の修正や削除は、ハンディターミナルからパソコンに転送後、現場主義の「棚卸データ保守」画面からも行うことができます。**

6. 値札要求

商品の値札（商品タグ）が必要になった場合に、値札の発行要求を行います。

（※ この機能は店舗にタグ発行機がない場合に使用します。
タグ発行機がある場合には現場主義の「値札発行メニュー」から商品を指定してタグ発行を行ってください。）

= 値札要求 処理 =
1:登録 2:削除
9:終了
>_

1 : 登録 値札要求商品のスキャンを行います。
2 : 削除 値札要求登録データの削除を行います。
9 : 終了 メインメニューに戻ります。

実行したい処理の番号キーを押してから、ENTキーを押します。

⇒ 値札要求商品の入力を行うには **1** を押して、**ENT** を押します。


6-1) 登録


区分:01 店舗:0001
上段:20000000000008
数量:10
計:120

区分 : 登録の区分を入力します。

01:登録 **02:取消**

01:登録 値札要求の登録を行う際に使用します。
02:取消 01:登録で入力した内容を修正・取消する際に使用します。

 **店舗** : 値札要求を行う店舗のコードを入力します。

 **上段** : 商品のJANコードをスキャンします。
キーボードからの手入力も可能です。
※ スキャンできないときは Q&A(P.21) をご覧ください。

数量 : 値札の必要数量を入力します。

計 : スキャンした商品の合計数量が表示されます。

最後まで入力すると 確認*_ が表示され、**ENT** を押すと登録されます。

→ 登録せず戻る場合は **FN** か **F1** (値札要求メニューに戻る)を押してください。

→ 登録件数が3000件を超えると'メモリ容量がいっぱいです'と表示されます。データ送信を行ってください。

6-2) 削除

= 値札要求 処理 =
 削除を行います
 開始しますか？
 確認*_

値札要求登録されたデータをすべて削除します。

- ⒺNT を押すと削除が実行されます。
- Ⓕ1 を押すと削除をキャンセルし、値札要求メニューに戻ります。

- ※ 一度削除されたデータを戻すことはできませんのでご注意ください。
- ※ 特定の商品のデータのみを削除したい場合は下記をご覧ください。

< このようなときには >

Q 対象商品を間違えて登録してしまったので、該当商品の値札データのみを削除したい。

→ 区分「02：取消」で取り消したい商品を同じ数量で登録します。

Q 対象商品の数量を間違えて登録してしまったので、訂正を行いたい。

→ 差分の数量を追加登録します。

例1：数量5と登録したが、数量3に変更したい。

→ 区分「02：取消」で同一商品を数量2で登録します。

例2：数量2と登録したが、数量6に変更したい。

→ 区分「01：登録」で同一商品を数量4で登録します。

- ※ **現場主義側での値札要求データの修正・削除は、本部版現場主義の「値札処理メニュー」でのみ行うことができます。**

7. 通 信

ハンディターミナルに取り込んだデータを現場主義に転送します。

= 通信処理 =
1:送信 2:受信
3:データクリア
9:終了 >_

- | | | |
|-----|--------|--------------------|
| 1 : | 送 信 | 現場主義にデータを送信します。 |
| 2 : | 受 信 | 現場主義からデータの受信を行います。 |
| 3 : | データクリア | ハンディの全取込データを削除します。 |
| 9 : | 終 了 | メインメニューに戻ります。 |

実行したい処理の番号キーを押してから、ENTキーを押します。

⇒ データの送信を始めるには (1) を押して、(ENT) を押します。

7-1) 送 信

= 通信処理 =
送信処理を
開始します
>*

- ① 登録したすべてのデータをPCに送信します。

PC側で取込実行を行ってから (ENT) キーを押してください。
データがない場合には、”送信データがありません”のメッセージ
が表示されます。

- ② 送信が開始されると、送信状況を表すカウンタ [0001/0100] が
画面上に表示されます。

= 通信処理 =
送信終了
クリア処理開始します
>*

- ③ 送信が完了すると、クリア処理を開始します の画面が表示
されます。そのまま (ENT) を押すと送信済みデータの
クリアが行われます。

※ F1 キーを押すことで、データを削除せずにメニューに戻る
こともできます。

※ 送信済みのデータを残したままにしておくと、次回の送信時に
再度転送が行われ、現場主義に2重にデータが作成されること
になります。現場主義の照会画面等でデータ受信を確認したら、
必ずデータのクリアを行ってください。

※ 送信に失敗するときは Q&A(P.22) をご覧ください。

7-2) 受信

現場主義からマスタ等のデータを受信します。
標準では使用しない機能です。

7-3) データクリア

= 通信 処理 =

クリア処理開始します

>*

ハンディターミナルに登録されたすべてのデータを削除します。

(ENT) を押すと削除が実行されます。

(F1) を押すと削除をキャンセルし、メインメニューに戻ります。

※ 一度削除されたデータに戻すことはできませんのでご注意ください。

8. 設定

ハンディーターミナルの設定を行います。

8-1) 設定 1

-設定 1-1-
バーコードエラー
(1:ON 0:OFF) :1
次へ>_

メインメニューで **(SF)** と **(F1)** の同時押しをすることで、設定[1]の画面が開きます。

バーコードエラー

上段バーコードをスキャンした際に、コードの左2桁が設定[2]の上段識別CDと異なっている場合にはエラーになるようにします。

-設定 1-2-
メーカー明細
(0:メ-カ 1:仕入) :1
確認*_

メーカー明細

1: ON を選択すると発注の登録の際に、仕入先の入力項目が表示されるようになります。

8-2) 設定 2

-設定 2-
取込入力 :0
顧客入力 :1
(1:ON 0:OFF) 確認*_

メインメニューで **(SF)** と **(F2)** の同時押しをすることで、設定[2]の画面が開きます。

取込入力

1: ON の場合、店舗・担当・日付の項目は表示されません。

店舗はPC取込時に自動的にログイン店舗の値がセットされます。

担当者CDは0で取込まれます。店舗BOの設定で担当者を取込画面で入力できるようにすることもできます。

日付は'00000000'で取込まれます。

0: OFF を選択すると、店舗・担当・日付の項目が表示され、ユーザーが各項目を入力できるようになります。

顧客入力

1: ON を選択すると、売上の登録に顧客CDの入力項目が追加されます。

8-3) 設定 3

-設定 3-

上段識別CD : 20

下段識別CD : 23

確認*_

メインメニューで **(SF)** と **(F3)** の同時押しをすることで、設定[3] の画面が開きます。

上段識別CD

上段バーコードのエラーチェックに使用されます。

(設定[1] バーコードエラー = 1: ON の場合のみ)

頭20のバーコードのみ入力できるようにしたいといった場合に使用します。



入力した上段バーコードと上段識別CDが違う場合には、設定[1] バーコードエラー の有無にかかわらず下段バーコードは入力できなくなります。

下段識別CD

下段バーコードのエラーチェックに使用されます。

上段バーコードが入力された場合に、下段識別CDと

同じ上2桁であればエラーになります。

(設定[1] バーコードエラー の有無にかかわらず)

8-4) 設定 4

-設定 4-

下段CD & 売価表示

(1:ON 0:OFF) : 1

確認*_

メインメニューで **(SF)** と **(F4)** の同時押しをすることで、設定[4] の画面が開きます。

下段CD & 売価表示

1: ON を選択すると、「移動」と「棚卸」の登録時、下段CDと売価の項目が入力できるようになります。

(※ 「売上」はこの設定に関係なく表示されます)

1: ON

0: OFF



上段: 20000000000008
下段: 2300012598006
売価: 1259800
数量: 10 計: 60



上段: 20000000000008
数量: 10
計: 60

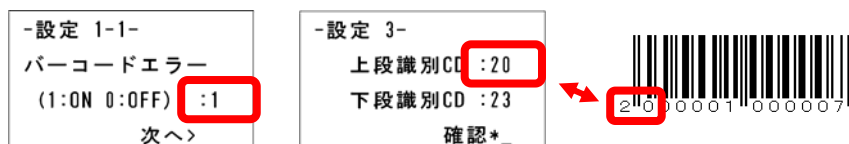
9. Q & A こまったときには

- 9-1) バーコードをスキャンすることができない。
- 9-2) エラー画面が表示され、ハンディが固まって操作できない。
- 9-3) 現場主義（パソコン）へのデータ送信がうまく行えない。

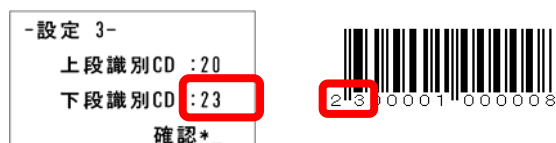
9-1) バーコードをスキャンすることができない。

バーコードが読めない場合には、次のようなことが考えられます。

1. ハンディが対応していないバーコードを読み込もうとしていませんか。（→P.2）
 - ・  マークの項目でJAN  の項目でNW-7のバーコードを読み取ることができます。
2. バーコードが欠損していませんか。
 - ・ バーコードがかすれていたり、欠けていたりすると正常に読み込みできない場合があります。
3. 読み取り方法は適切ですか。（距離や角度等）
 - ・ バーコードから10～20cmほど離して、スキャンを行ってください。
4. 設定1のバーコードエラーがONになっていませんか。（→P.19）
 - ・ 設定1のバーコードエラーが[1:ON]になっている場合、設定3で登録してある [上段識別CD] と一致しないバーコードはエラーとなります。

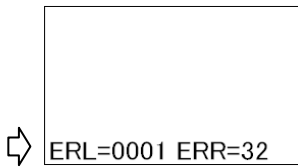


5. 上段バーコードを読み込む際に、設定2の下段識別CDと同じJANコードを読み込もうとしていませんか。（→P.20）
 - ・ 設定1のバーコードエラーの内容に関わらず、設定3で登録してある[下段識別CD] と同じバーコードを読み込むとエラーとなります。

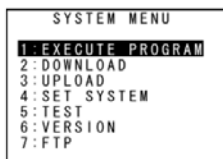


⇒ 上記を確認しても読み込めない場合は、キーからの手入力を行ってください。

9-2) エラー画面が表示され、ハンディが固まって操作できない。



左の図のように、画面下部にエラーコードが表示され、操作ができなくなってしまった場合は、下記の手順でハンディターミナルのリセットを行ってください。



1. (PW) キーを押してハンディの電源を切ります。
2. (SF) キーと (1) キーを押したまま (PW) キーを押し、ハンディの電源を入れます。
3. SYSTEM MENU 画面が起動しますので、そのまま (PW) キーを押してハンディの電源を切ります。

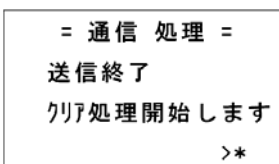
上記の操作でハンディは元通り使用することができるようになります。

※ 商品読み込み中に上記のエラーとなった場合、すでに読込済のデータについては問題なく使用できるものと思われませんが、使用する場合には念のため取込後にチェックリスト等で取込内容の確認を行ってください。

9-3) 現場主義 (パソコン) へのデータ送信がうまく行えない。

ハンディターミナルから現場主義へのデータ転送がうまくいかない理由には、様々な原因が考えられます。下記の確認手順を実行してください。

①



まずはデータ転送に失敗した直後のハンディターミナルの画面を確認してください。

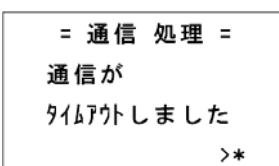
左のどちらの画面が表示されていますか？

① 「送信完了」の画面が表示されている場合

・ハンディからパソコンへのデータ取込は成功していますが、パソコンから本部サーバーへのデータアップロードに失敗しています。

⇒ 23ページの「PC ⇒ サーバー転送失敗の場合」を参照してください。

②



② 「通信がタイムアウトしました」の画面表示の場合

・ハンディからパソコンへのデータ取込が失敗しています。

⇒ 24ページの「ハンディ ⇒ PC取込失敗の場合」を参照してください。

【 PC ⇒ サーバー転送失敗の場合 】

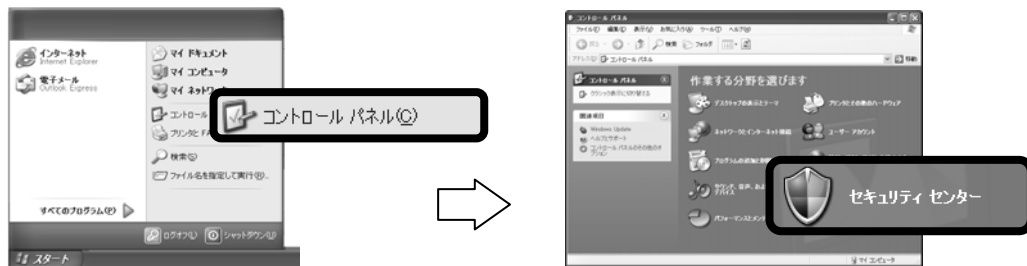
1. ファイアウォールの例外設定にFTPは入っていますか？

Windowsにはネットワークからの不正アクセスを防止するために、ファイアウォールという通信制御の仕組みが入っています。ハンディから取り込んだデータを本部サーバーに送信する際には、FTP.exe(File Transfer Program)というプログラムを使用しますが、これがファイアウォールの例外設定に登録され、ファイアウォールをデータが通過できる状態になっている必要があります。

＜ 確認の方法 ＞

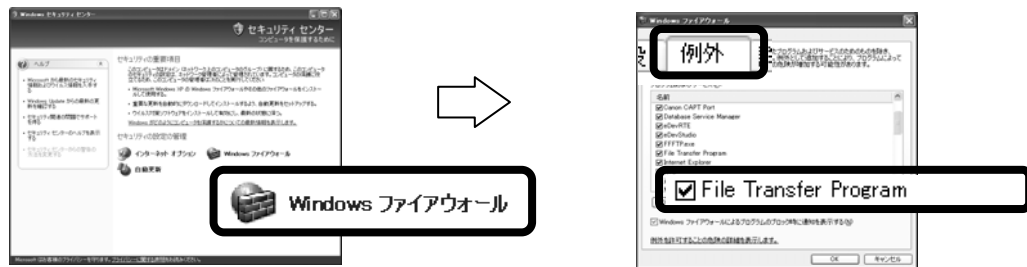
- ① スタートボタンからコントロールパネルを開きます。

コントロールパネルが開いたら、セキュリティセンターをクリックしてください。



- ② Windowsファイアウォールを選択し、ウィンドウの「例外」タブをクリックします。

一覧の中に、「File Transfer Program」がありチェックがついていることを確認してください。



※ チェックがついていない場合はチェックを入れて、OKボタンを押してください。

※ 一覧に「File Transfer Program」が存在しない場合には、「プログラムの追加」ボタンから「C:\¥WINDOWS¥System32¥ftp.exe」を指定して一覧に追加することができます。

2. セキュリティソフト（ウィルス対策ソフト）を最近インストールしましたか？

上記のファイアウォールはWindowsに標準である仕組みですが、同じようなものがセキュリティソフトにもある場合があります。セキュリティソフトの種類によっては「File Transfer Program (FTP.exe)」を許可する必要がある場合がありますので、セキュリティソフトを導入してから転送ができなくなったという場合には、セキュリティソフトの設定を確認してください。

【ハンディ ⇒ PC取込失敗の場合】

1. ハンディとパソコン間は正しく接続されていますか？

- ・ **通信ユニットの電源は入っていますか。**（電源ランプが点灯していることを確認してください。）
- ・ 通信ユニットにハンディが正しくセットされていますか。
- ・ 通信ユニットとパソコン間のケーブルは正しく接続されていますか。
（正しくつながっているように見える場合でも、**一度ケーブルを挿し直してみてください。**）

2. 送受信処理の手順は正しいですか？

- ・ 現場主義のHHT取込の画面にて取込ボタンを押した後、すぐにハンディの送信メニューで実行[ENT]ボタンを押す必要があります。

3. ハンディとパソコンをつなぐケーブルはUSB形式のケーブルですか？

- ・ USBの場合、ケーブルを挿す場所を変えるとポート番号が変わってしまい、通信に失敗する場合があります。**ケーブルを挿す場所を他のUSBポートに変更してみてください。**
- ・ ハブを使用している場合は、ケーブルを直接パソコンのUSBポートに挿すようにしてください。
- ・ 新しくUSB変換ケーブルを使用される場合には、専用のドライバが必要になります。

4. コンピュータの再起動を行ってください。

- ・ コンピュータを再起動することで、外部機器の認識がリセットされ正常に通信ができるようになる場合があります。

5. その他

- ・ ハンディの機種を変更しましたか。（使用するハンディの機種を変更する場合には、通信ソフトの入れ替え、および通信速度の設定変更が必要になる場合があります。）
- ・ セキュリティソフト（ウィルス対策ソフト）を最近インストールしましたか。（ハンディの通信プログラムがセキュリティブロックの対象となっている場合があります。）

≪ バーコードスキャンのテストにお使いください。 ≫

商品タグ



従業員カード



※ 読み取りに失敗する場合はバーコードエラーの設定(P.19)を確認してください。

【 MEMO 】

【 MEMO 】

現場主義 BHT-300 操作マニュアル

株式会社 松山電子計算センター

2010/11/5